



抱樸館福岡の取り組み

令和5年度 日住管理者等資質向上研修

施設概要

- 2010年5月開所
- 福岡市東区多の津5丁目
- 定員81名
（シェルター12名、無低39名、日住30名）
- 総利用者は1,500人（年間100人強）
- 全個室（浴場、トイレ、ランドリー、食堂は共用）
- フリーwifiあり

職員

- 館長 1 名、副館長 1 名
- シェルター 2 名（うち主任 1 名）
- 本館（日住・無低） 8 名（うち主任 2 名）
- アフター 6 名（うち主任 1 名）
- 事務（1 名、パート 2 名）、経理 1 名
- 心理士 1 名
- 厨房 1 4 名（うち常勤 3 名）
- 夜勤 5 名

抱樸館を支える体制

- 一般社団法人 抱樸館を支える会
- グリーンコープの組合員を中心に11,000名
- 年1,000円会員、月250円会員
- グリーンコープの納入業者の会「グリーンクラブ」
- 食材の寄付多数
- 居宅協力者の会（不動産）



抱樸館を支える体制

- 生活再生相談室の出張相談会（月2回）
- 弁護士相談会（月1回）

- ファイバーリサイクルセンター（就労訓練）
- はこまめ屋（就労訓練）
- リパックセンター（就労）



抱樸館の土地 建設前



建設中の抱樸館



抱樸館の玄関



南側のテラス



2階のテラスから リバーサイド



プレゼントされた桜の木



パソコンもWifiも使えます



ボランティアさんが散髪します



技能講習でスキルを身につけます

技能講習のご案内



フォークリフト <small>(最大質量1トン以上)</small>	高所作業車 <small>(最大床高さ10m以上)</small>	玉掛け <small>(吊り上げ質量1トン以上)</small>
小型移動式クレーン <small>(吊り上げ質量1トン以上)</small>	床上操作式クレーン <small>(吊り上げ質量5トン以上)</small>	車両系建設機械 (整地)
車両系建設機械 (解体)	ガス溶接	アーク溶接
普通自動車 一種	中型・大型自動車 一種	ペーパードライバー
原動機付 自転車	パソコン事務	パソコン事務上級①
パソコン事務上級②	ハウスクリーニング	工場内作業研修
介護職員初任者 研修		

【技能講習】とは、皆さんが少しでも良い条件で仕事に就けるように、資格を取り技能を身につけていただくための講習です。
 【技能講習事業】はNPO法人抱樞が厚生労働省から受託した事業NPO法人抱樞が運営しています。受講料は必要ありません

ご希望の方は担当相談員または、技能講習担当者へご相談ください
技能講習担当 上野・川口

心算書類を交付するにのりにつて必要なもの

40歳からの個別就職相談実施中

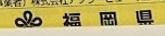
お悩みお困りはありませんか？

- ①自分に合う仕事が見つからない
- ②求人を探し方がわからない
- ③応募書類がうまく書けない
- ④面接がうまく話せない
- ⑤不採用ばかりでつらい

そんなお悩みを相談しませんか？
 再就職専門のアドバイザーが1対1でサポートします。

県内18カ所で開催中です。
 お近くの相談会場をご利用ください。

主催：福岡県中高年就職支援センター
 (福岡県、福岡労働局・ハローワーク)
 ホームページアドレス: <https://www.tsc-f.net/>
 <申込お問い合わせ>
TEL 092-711-7760 E-mail tsc-f@ahc-net.co.jp
 (受託事業者) 株式会社アソフ・ヒューマンセンター



中高年 シニア求人

する方を応援



キャリア人材バンク

下記、事務所
 ご相談については、登録され

- ・60歳から70歳までの方で
- ・在職中で再就職を希
- ・離職者(※)で再就職

担当者が登録に必要
 キャリアバンク
 キャリアバンク

公益財団法人産業雇用安定セン
 福岡県労働局(福岡市の労働局)と
 連携により実施された研修・務
 務です。
 全国47都道府県に拠点(事務局
 全国ネットワークで求職者支援が
 あります。現在は生涯現役社会
 の実現に向けて高齢者の就職の
 促進に取り組んでいます。

公益財団法人 産
 福岡事務所 TEL: 092-711-001

ちょっとしたお仕事は、 シルバー人材センターに おまかせください!!

- 庭の草取り・庭木の剪定
- 家事補助サービス
(掃除・洗濯・食事づくり、他)
- 子育て支援サービス
- 宛名・賞状書き

シルバー人材センターについて
 ・国、福岡県、福岡市から支援を受けて運営している
 公益法人です。収益を目的とした営利団体ではあり
 ません。安心してお任せください。
就業形態
 ・お身体と会員の間に雇用関係は発生いたしません。
 ・鎌倉・責任契約によって、仕事を引き継ぎます。
 ・当センター会員の公平な就業機会を得るために、
 年齢・長期間の場合、ローテーションにお就業します。

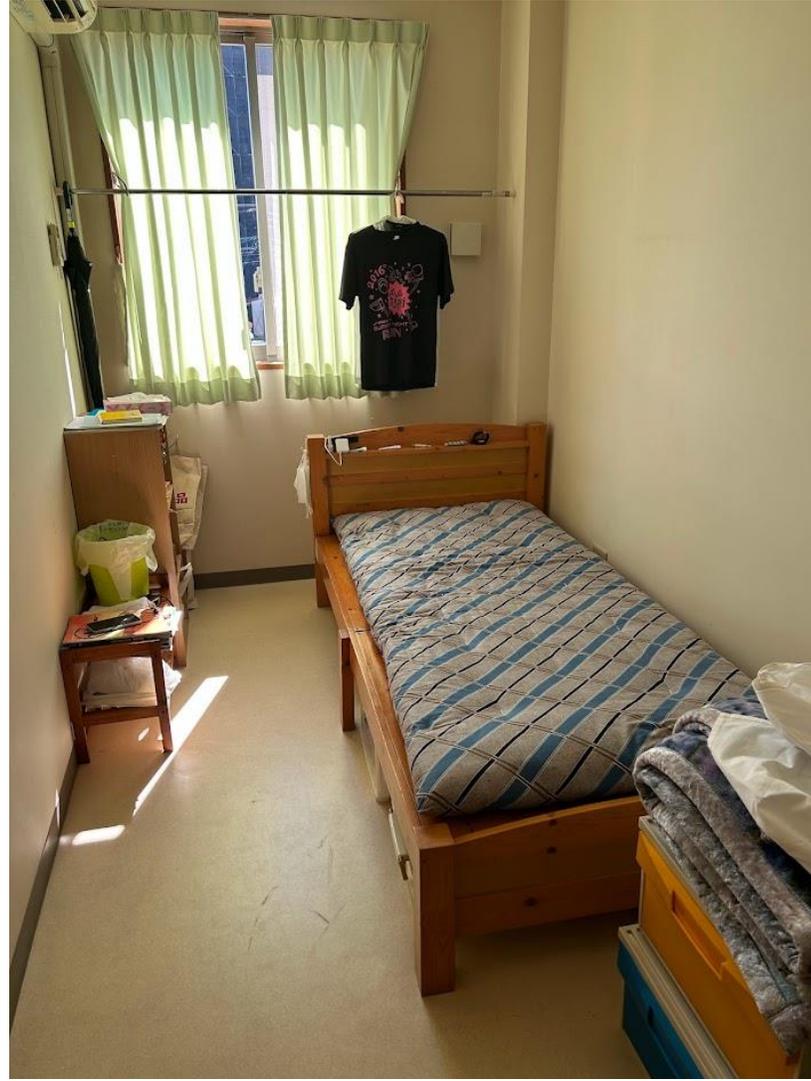
大浴場



個浴



居室は一人部屋



ランドリー室



広い食堂 一緒に食べられるように



子どもたちの見学 記念撮影



子どもたちが運営する出張カフェ



抱樸館のお墓 「絆」



みなさんもどうぞ見学においでください。

お待ちしております！



相談事例のご紹介

Case 1 : 解離性健忘のIさん

- 昭和57年（1982年）生まれ（推定）41才
- 気がつくと駅にいた。以前のことは何も覚えていない
- 区役所にて保護申請してシェルター入所
- その後、日住へ
- 精神科受診して、解離性健忘と診断
- 入所後、万引きで捕まる。ただし、万引きは覚えていない
- 犯歴なし

Case 1 : 解離性健忘のIさん

- 弁護士に依頼して就籍の手続き開始
- しばらくして仮の住民票が作成できた
- マイナンバーも取得
- 系列の会社でアルバイトをはじめ
- しばらくして、フルタイムになり、引っ越しをした
- 戸籍は今のところ、まだできていない

Case 2 : A S D の H さん

- 平成9年（1997年）生まれ 26才
- 関西地方の出身
- 学歴：大学4年生で中退
- 職歴は、レジ打ちのアルバイトのみ
- 兄と同居していたが、けんかして野宿生活
- 九州の知人を訪ねるために来たが、当てがはずれた
- A市で保護申請し、抱樸館福岡を紹介され入所

Case 2 : A S D の H さん

- 「どうしてのこの学校に行ったのですか？」
→ 「電車の乗り換えが苦手だったので」
- 精神科受診して、W A I S で検査。
→ I Q 8 3 で境界知能。A S D との診断
- 「普通に就職したい」との意向で就職するも短期離職
- 技能講習で習得したパソコンを利用して、就労継続支援 B 型へ
- 「一番合っていて、楽しい」
- 職場近くへ引っ越し予定

Case 3 : 社会不安障害の S さん

- 昭和 5 8 年（1 9 8 3 年）生まれ 4 0 才
- 関西地方の出身
- 職歴 4 0 社以上。対人関係が苦手
- 死に場所を求めて九州へ
- 自殺企図に失敗し、ライフリンク「生きづらびっと」に繋がる
- N P O 法人抱樸から抱樸館福岡へつなぎ
- アウトリーチしてお会いしたら「天使に見えた」

Case 3 : 社会不安障害の S さん

- 知的障害を疑い、精神科受診
- IQ 81。社会不安障害と診断
- 本人は「ほっ」とした
- 自分の頑張りが足りないのではなかったと安心
- 300万円の自己破産
- 突然、警察が
- 身元引受人になることで、執行猶予に
- ひとりでできる清掃業で仕事が続いている

Case 4 : ADHDのFさん

- 1952年（昭和27年）生まれの71才
- 親の遺産4,000万円で23年間生活。ずっと無職
- 遺産が尽きたところで、自殺しようとして計画していた
- 野宿しているところ、警察官から生活保護申請を勧められた
- 保護申請して、抱樸館福岡へ入居
- 小さいころから、ずっと「注意散漫」と言われていた
- ぼくが「おかしい」ことは分かっている

Case 4 : ADHDのFさん

- 心理士によるWAISでADHDの傾向が強い
- 精神科受診し、正式にADHDと診断される
- 23年間、就労していないが「働きたい」との意向
- 介護保険非該当（自立）
- 就労継続支援B型で調整中
- 表情もよくなり、笑顔がよくみられるようになった

Case 5 : 知的障害の S さん

- 昭和 4 8 年（1 9 7 3 年）生まれの 5 0 才
- 中学校卒。高校には進学なし。成績は 1 と 2 ばかり
- はじめは料理人、トラックの運転手を転々
- 1 回の結婚歴あり
- 車中生活を経験
- その後、市役所で生活保護の相談をし、抱樸館を案内された
- 生活歴や識字の様子から、知的障害を疑った

Case 5 : 知的障害の S さん

- 更生相談所で療育判定の結果、手帳が取得できた
- 100万円を超える債務は、ギャンブル（パチンコ）が大半で、自己破産でなく、時効を待つことになった
- 抱樸館での配達アルバイト開始
- 遅刻欠勤、誤配もなく、とてもまじめに就業している
- 入所中はパチンコなし
- 配達アルバイトにも慣れたので、できるだけ長く続けたい、と、本人の意向

Case 6 : 難病の Y さん

- 1977年（昭和52年）生まれの45才
- 会社寮で就労していたが、体調悪く解雇と同時に退寮となり、職と住まいを同時に失った
- 会社から「市役所に行け」と言われ、相談に
- 難病の筋萎縮症を患っていたが、病院受診は停止していた
- 身障手帳4級は所持していたが、難病指定はなし
- 停止していた病院受診から始めた
- 進行性の疾病、歩行に難があるため、一人暮らしではなく、グループホームを探した

Case 6 : 難病の Y さん

- すぐにグループホームは見つかったが、受給者証の申請からだったため、サービス利用まで2～3ヵ月かかる
- グループホームに転居したら、系列の就労継続支援 B 型に通所予定
- できるだけ長く勤めたいとの意向を示している

Case 7 : TransgenderのYさん

- 昭和56年（1981年）生まれの42才
- 男性として生まれるが、性自認は女性
- 小学校で自分の性に違和感を覚えるようになる
- 大学中退後、職を転々とする
- 大人になってカミングアウトするも、からかわれ、うつになる
- アルコールびたりで、家はごみやしきとなる
- 家賃滞納でホームレス生活に。兄から忌み嫌われる

Case 7 : Transgenderの Y さん

- 入所してから、精神科受診開始
- 飲酒は一切なし
- 精神保健福祉手帳 2 級取得
- 就労継続支援 B 型通所開始
- 施設内ではカミングアウトしているが問題なし
- 精神的にも落ち着き、転居予定
- 性的マイノリティの自助グループには通っていない

Case 8 : 統合失調症のUさん

- 昭和45年（1972年）生まれの53才
- 入所してから統合失調症との診断
- 入所当時は、幻聴がありときどき誰かに怒鳴っていた
- 現在は、幻聴なし
- 何もしゃべらない。身振り手振りのみで意思表示
- 部屋にいて、何もしない
- 清潔の保持は難しい
- 往診と訪問看護で対応

Case 8 : 統合失調症のUさん

- 治療が遅れたために、人格の荒廃か？
- 服薬しても何も改善しない
- グループホームとか作業所に興味なし
- 見学の日には逃げる。内容は理解している様子
- 施設が居心地がいいのか、転居意思なし
- これからどうやって関わっていこうかと頭を悩ませている

Case 9 : アルコール依存症の T さん

- 1957年（昭和32年）生まれの66才
- 入所前からアルコール依存症はわかっていた
- 飲まないという約束で入所するも、たびたび泥酔
- 抗酒剤を飲んだ時期もあったが、次第に治療は拒む
- がんが見つかるが、治療の意思なし
- 好きな酒を飲んで、カラオケで歌って暮らしたいとの希望
- 本人の意思を尊重し、誰も住んでいない他県の実家に帰る
- なんとかやっているとの電話はもらっている

Case 10 : ヤングケアラーのOさん

- 1995年（平成7年）生まれの27才 女性
- 小中学校でいじめを経験。ほとんど登校していない
- 高校は通信制
- 両親は早くに離婚。母は病気がちで、幼いころから母に代わって家事と弟や妹の面倒をみてきた
- いくつかの日住施設を見学したが、技能講習のある抱樸館でパソコンを習いたいとの希望で入所
- 度重なる過呼吸発作があり、精神科に入院した
- 入院先からグループホームへ転居した

Case 1 1 : 両親が失踪したWさん

- 1975年（昭和50年）生まれの48才
- 小学校2年生のころ、母親が失踪
- 小学校4年生のころ、父親も失踪
- 以後、父親の母（おばあちゃん）と二人暮らし
- 貧しくて、朝ごはんを食べたことがない
- 中学校卒業後、就職。
- 23才で結婚したが、しばらくして離婚
- 派遣期間が終わり、退寮と同時に日住入居。

参考

- 見立てで参考にする事
- 生活歴、学歴、職歴
- 自筆の文字のバランス
- 作文能力
- 着こなし、髪型、爪などの様子
- コミュニケーションの受け答え
- お部屋の様子
- 生活場面でのふるまいなど

まとめ

- 入所するまでには受診なし。診断なし。制度利用なし
- 制度利用している人は、ホームレスになりにくい
- 病名をつけたいわけではないが、安心する人も
- 制度にのっける
- 就職はつながりであり、いちばんの社会参加
- 自己肯定感もあがる
- 生活が安定すれば、気持ちも安定する